

LUBROID

京都市内から  
日本海まで  
ドライブ!



●マツダのクリーンディーゼルは低圧縮比により、ほぼガソリンエンジンと同等の静粛性を持つ。低速からの太いトルクで加速もスムーズ。添加後はその特徴がさらに引き出され、全域でめめらかになった。日本海まで往復160kmほどのドライブだが、その変化は確実に体感できた

# Earth Tech

アーステック ルブroid  
スーパーハイブリッド  
メタルコンディショナー

# LUBROID

## SUPER HYBRID METAL CONDITONER

昨年の本誌7月号ではNDロードスター、  
10月号ではハイエースに添加し、  
その実力を検証した金属表面改質強化剤のルブroid。  
今回は一般ユーザーに協力を願い、  
クリーンディーゼルエンジンでその効果を確かめた。

◎自動車用「ルブroid」代理店 三栄商事株式会社 ☎052-931-3355  
文・写真=編集部

### 初めての金属表面改質剤

本誌でも複数回にわたって取り上げた金属表面改質剤のルブroidシリーズ。エンジンオイルに添加すると内部の金属部品表面に分子結合皮膜が形成され、スムーズな動きと優れた保護性能を実現する。今回は京都在住の下総さんに協力してもらい、その変化を試した。

愛車は2016年1月購入のマツダCX5(ディーゼルモデル)。通勤にも使っているため、走行距離は購入後1年少々で2万6000kmを超えた。これはかなり走っているほうで、添加前の状態もよく認識しているはずだ。サーフィンが趣味の下総さんには、住まいのある京都市内から日本海(若狭湾)までの走り慣れた道を、往路は添加前の状態で、

復路はルブroidを添加してドライブしてもらった。はたして変化を体感できるだろうか。まず往路では、一般道・高速道路ともいつものどおりの気持ちのいい走りを見せるCX5。同乗していても快適だった。

そして添加後の帰り道。下総さんいわく、「普段の感覚で一般道を走ってみたら、いつもより加速がよくなっている、思わずブレーキを踏みそうになりましたよ」とのこと。全域で回転がスムーズになったため、アクセル操作に対する反応が鋭く感じられたのだらう。

ディーゼルエンジンは、オイルも専用品となっている場合が多い。また、クルマによってはオイルに燃料が混入しやすいものもある。燃料が混入してしまうと、オイルの粘度変化、熱酸化劣化、油膜強度低下などの悪影響が懸念される。しかしクリーンディーゼル対応のルブroid LE3500は、ディーゼル専用オイルに対応しており、燃料や水分などが混入しても影響を受けず、安定した性能が持続する。

LE-3500  
クリーン  
ディーゼル車  
専用

●ルブroidは、環境への悪影響を最低限とした塩素フリーでありながら、超極圧性能、低摩擦係数を実現した金属表面改質強化剤。LE-3500はクリーンディーゼル車用タイプで、エンジンオイル量の3%を注入する

LE-3500 (150ml入りボトル) : 5076円



●テストに協力してくれた下総さん。以前はハイオクのゴルフ5に乗っていたが、通勤や、趣味、家族サービスなど長距離ドライブが多くなったため、燃料代が抑えられるクリーンディーゼル車へと乗り換えた。ルブroid添加によって、今後の燃費向上も期待できそうだ



LE-3500は、最適な粘度指数や清浄分散性など高い機能性をもち、オイルの性能低下を防ぐことでエンジン自体の好調を維持する。また、スパーチャージャーやターボチャージャーなど過給器の付いたエンジンへの使用も問題なく、触媒を傷める心配もない。

添加によって金属部品の動きをスムーズにする金属表面改質剤で、クリーンディーゼル車専用商品という商品は、意外と珍しい。愛車がクリーンディーゼル車の人は、この効果をぜひ体験してほしい。